

2022年11月2日(水)第一水曜祈祷会

詩篇141篇1～10節

「主よ、私のところに急いでください」

【詩篇141篇の概略】

- ①誘惑からの救いと保護戸を求める詩篇。詩人は悪者たちに囲まれ、誘惑を受けていた。
- ②悪者の勝利は、詩人の敗北にとどまらず、神を信頼する生き方そのものの挫折と見なされる。
- ③表題の「ダビデの賛歌」とは、「ダビデの生涯を思い出しながら歌った礼拝用詩篇」という意味。

【観察と黙想】

1. 主を呼び求める祈り(1～4節) * 詩人は祈りの中でまず、誘惑からの保護を求める

①「私のところに急いでください」とは、詩人のどんな気持ちを表していますか(1節)。

→

②「祈りが…立ち上りますように」とは、詩人のどんな気持ちを表していますか(2節)。

→

③「私の口に見張りを置き、私の口唇を守ってください」とは、どういうことですか(3節)。

→

④「私の心を悪に向けさせず…悪い行いに携わらないように」とは、どういうことですか(4節)。

→

2. 敵からの保護を求めて(5～10節) * 不法を行う者たちを、今や「悪者」として意識している

①「正しい人が真実の愛をもって私を打ち…」とは、どういうことですか(5節)。

→

②「彼らのさばき人たちが岩の傍らに投げ落とされるとき…」とは、どういうことですか(6節)。

→

③「私たちの骨はよみの入り口にまき散られました」とは、どういうことですか(7節)。

→

④「私の目はあなたに向いています。…身を避けています。」とは、どういうことですか(8節)。

→

⑤「仕掛けた罠から…落とし穴から…」とは、どういうことですか(9節)。

→

⑥「悪者が自分の網に陥りますように」とは、どういうことですか(10節)。

→

【適用と分かち合い】

①詩人は、不法を行う者たちからどんな誘惑を受けていたと思いますか。

②詩人は、度重なる誘惑に対して、どのようなことを祈っていますか。

③詩人は、過酷な経験をして、敵や自分の状況を呪うのではなく、なぜ主に祈ったのですか。